



マイロード

第490回
2021年12月19日

主催/新日本スポーツ連盟横浜市連盟・よこはま月例マラソン運営委員会

来年が良い年でありますように！



【11月スタート前の様子】

参加者の皆様にとって2021年を振り返ってどんな年でしたか。月例マラソンではコロナ感染拡大の影響で、1～3月と8～9月の5ヶ月の中止を余儀なくされました。今年は東京2020オリンピック開催の年でした。しかし、パンデミックにより、開催が1年先送りとなり、無観客開催となりました。このオリンピック開催強行により日本国内では爆発的感染拡大となり、緊急事態宣言が9月末まで延長されました。スポーツ界で特筆すべき出来事は、オリンピックで活躍された方はもちろんですが、大谷翔平の二刀流で大リーグMVPに輝いたこと、松山英樹がマスターズ優勝、笹生優花が全米女子ゴルフで優勝、川崎フロンターレのJリーグ優勝、プロ野球ではヤクルトが20年ぶりの日本一など、コロナ禍の閉塞感の中で、私たちに多いに励ましてくれました。政治分野では総選挙で自民が絶対安定多数を占め、改憲の動きが心配です。先が見えにくい時代にあって、月例参加者のご家族、運営委員会の方々にとって、来年が良い年でありますように！(康)

「お正月お楽しみ大会」を実施します

特別申し込みの必要はありません。年代別の1位に記念品を贈呈します。ただし、結果は当日の速報とします。

- ・種目別：1km・3km・5km・10km・20km
- ・年代別：20才未満・20歳代・30歳代・40歳代・50歳代
60歳代・70歳以上

・性別：男・女

※1：初参加の方は表彰の対象外とします。

※2：記念品は表彰係まで(受取は当日のみとします)

＜日本に住む外国籍の方を3名招待します＞

・第490回よこはま月例マラソン(2022年1月16日開催)

・締切日：2022年1月11日

※応募者多数の場合は抽選で決定します。

・申し込み方法：月例HPから下記の情報を送って下さい。

・[名前]、[性別]、[年齢]、[国籍]、[住所&アドレス]

◇WEBでの速報を開始します◇

レースが終わるごとにWEB速報が携帯で見られるようになりました。(あくまで速報値です)

◇今月からミニ・バードウォッチングを再開します◇

◆棄権届は郵便振替で受付ます◆

よこはま月例マラソンでは、棄権届を現地のみで実施してきましたが、コロナ禍で手続きの簡素化や参加者の利便性を考慮し、郵便振替による棄権届を受け付けます。※振込締め切り日は月例開催日の前々日(金曜日)18時までとします。

振込先/よこはま月例マラソン運営委員会

口座記号・番号 00240-6-107766(右詰) 【店番 029】

次の4項目は必須です。①何月分の棄権届 ②電話番号

③ナンバー ④お名前と年齢

※ゆうちょダイレクトも可能です。

毎月第3日曜日・午前8時30分スタート

種目	1km 3km 5km 10km 20km (20kmは6～9月お休み)
受付時間	現地にて午前7時50分から10時まで受付。＜棄権の受付も10時までです＞
スタート	1km-小学生以下/8:30 一般8:50 5km/9:10 20km/10:00 10km/10:05 3km/10:10 (スタート時間、種目は状況により変更することがあります)
参加費	初参加は1500円 (2回目から大人1,000円・高校生以下は500円)
記録表彰	希望者に記録証(速報を掲示)、翌月掲示版にて発表。 ホームページにて全記録を発表。WEBでの速報が携帯から。
連続賞	10、20、30、50、75、100回(通算は20回のみ)

＜ボランティア募集＞①ランナーの立場に立ってサポートできる。②毎月第3日曜日に参加できる。この二点が条件です。参加された場合、交通費として、3,000円をお支払します。受付まで。

次回は第491回 2022年1月16日



新日本スポーツ連盟 横浜市連盟

〒221-0045横浜市神奈川区神奈川2-14-16トーリックビル3F
TEL045-534-5553 FAX045-534-5554

*** 今月の表彰 ***

*連続100回参加賞 月例年間パス

No. 11636 松丸清志郎 (11)

No. 11736 大迫 真一 (52)

*連続75回参加賞 別製ランニング

No. 13361 大武 健太 (56)

No. 14547 財前 進 (58)

No. 14912 川村 亜希 (42)

*連続50回参加賞 選択制

No. 16954 向井 秀孝 (41)

No. 18501 小田切 悠 (12)

No. 18552 長嶋 美奈子 (52)

*連続30回参加賞 選択制

No. 18900 山本 晴大 (11)

No. 19083 梶原 悠 (7)

No. 20786 平野 敦 (54)

No. 20810 中村 侑音 (6)

No. 20862 近藤 正隆 (40)

No. 20876 竹内 隆 (57)

*連続20回参加賞 選択制

No. 19188 久木 正晴 (41)

No. 22127 佐藤 勇太 (44)

No. 22139 中野 克彦 (50)

*連続10回参加賞 ランニング

No. 3671 山田 篤史 (50)

No. 18828 椎名 尚江 (53)

No. 19550 佐伯 恭吾 (13)

No. 20223 佐伯 昌彦 (49)

No. 20757 小島 凜久 (13)

No. 20865 木村 哲 (38)

No. 21300 小島 愛惟 (9)

No. 21458 内田 新一 (58)

No. 21762 神宮寺龍一 (45)

No. 21850 諸岡 等史 (57)

No. 22252 菅野 克典 (52)

No. 22347 富山 昌子 (41)

No. 22489 中沢 晶紀 (41)

No. 22698 小竹 拓也 (38)

No. 22916 小坂 優子 (47)

No. 22925 鈴木 翔真 (15)

*通算20回参加賞 ランニング

No. 2070 原田 文義 (62)

No. 4749 大橋 徹 (73)

No. 7548 熊谷 潤 (47)

No. 13150 小池 茂治 (71)

No. 15026 西山 博子 (58)

No. 18132 小澤健一郎 (50)

No. 21675 富山 結鈴 (9)

(敬称略)

◎連続と通算は重複しません。

フォト・インタビュー

No. 19550 佐伯恭吾さん

No. 20757 小島凜久さん

No. 23393 新井谷真衣さん

(緑ヶ丘中学陸上部の仲間です)

昨日は横浜市中学ロードレース大会でした。総合で男子1年は2位でした。(佐伯さん)小学3年から走っていて中学でも陸上部に入部。めちゃくちゃ楽しいです。今日の10kmでは部門別で2位。(小島さん)僕達は連続10回。昨日の大会で疲れたので今日の月例はギブアップ…1kmを佐伯さん、新井さんと走りました。新井さんは初参加で、1km部門別で1位。

No. 1412 広瀬洋二さん(20年振りの参加です!) 当時、連続20回近くまで頑張りました。その後仕事が忙しくなり途絶えましたが、昨年定年退職をしたのをきっかけに時間ができたので、又走ってみようと思ってきました。20年前にも何百回という方がいらして凄いなあ〜! と思ってました。今迄は自転車とマラソンを両方やっていた自転車の方は、ツインリンクもてぎや千葉県の方に行き、成績は追っかけずにお遊びのレースで楽しんでやっています。今日も自転車で景色を楽しみながら来ました。皆さんに迷惑をかけないように走ってきます!

No. 22701 岩下梢さん
No. 21512 山下美智子さん

(山下さん談) 元陸上部。2018年から “なんとなく頑張って走ってみようかなあ〜”と走り始めました。朝、仕事前と後に練習をしています。過去に10kmの勝田マラソン、今のところ最初で最後の30kmランは、青梅マラソンです。この月例はお手頃な大会があると知って参加するようになりました。(岩下さん談) 山下さんは青梅マラソン時、後方のブロックでまた怪我もしていたのにすれ違った時、もう来



てる〜!とビックリしました。私の走歴は10年程。初めて当選した東京マラソンでは、3時間20分ちょっとでしたが、それからは全然駄目なんです。でも関東圏の主な大会には結構参加しています。今日は久しぶりなので頑張って走ってきます。

No. 23364 浅野聡さん

今日で2回目です。前は参加者も少な目でしたが、今日は大勢でビックリです。大きな大会には参加していますが、この月例のような練習会は初めてです。過去にいわきサンシャインマラソンにも出ました。遠くは高知とか色々な地方の大会には結構行っています。日頃は川沿いとかジムへの往復を走っています。月間200km位練習した時もありましたが、今は外出しづらいということもあって100km位でしょうか。

No. 23149 芝田志保さん(20km)

No. 23150 芝田知広さん(10km)

(志保さん) 3年前に突然走ることに目覚めました。2年前、湘南国際マラソンで初フルマラソン。4時間半位でした。景色も良く、真っ直ぐなコースで走りやすかったですね。来年は2月になったので参加予定です。今日は20km走ります。(知広さん) 全然走ってなかったのですが、彼女の影響で1年半位後から始めました。早くランシャツを欲しいなあ〜と思ってます。今日は10kmです。



【編集後記】早いもので1年が過ぎようとしています。

今年も遠出は遠慮がちに…この秋、山梨県の山中の離れた二ヶ所から湧き水を持ち帰り、お茶やコーヒーにと飲み比べをしてみました。水は地下水として流れる過程で地域独特の地質成分が溶け込むからひと山越えると味も違います。改めて湧水は日本風土と文化と深い絆で小気味良いステップを刻んできたのですね。皆様、良いお年をお迎えください(尚)